

栄小学校区・入舟小学校区・湊校区・豊照地区

各コミュニティ協議会会長 様

二葉中学校と舟栄中学校の統合に係る提言（案）

二葉中学校区・舟栄中学校区地域検討会

日頃より地域発展のためご尽力されていることに敬意を表します。

さて、私たち二葉中学校区・舟栄中学校区地域検討会では、少子化の進展や都市人口のドーナツ化現象などにより、学校の小規模化が進む二葉中学校区と舟栄中学校区において、子どもたちにとってより良い教育環境の実現を目指す視点から、これからの学校のあり方について協議を重ねてまいりました。

この協議の要旨としては、

- ① 学校の小規模化が進む二葉中学校と舟栄中学校については、生徒にとってより良い教育環境を実現する方法として二つの中学校を統合すること
- ② 統合の実現に向けては、教育活動の継続性や生徒の心情を考慮し、十分な準備期間をとること
- ③ 統合後の使用校舎については、統合後の生徒数や新しい学区における位置、建築年度などを考慮に入れ、総合的に判断すること
- ④ 統合の実際においては、それぞれの学校の伝統を踏まえるとともに、他の地域に誇れる学校を目指して、地域や保護者が協力していくこと。また、教育委員会をはじめ、市当局や議会などに協力、支援を求めていくこと

などです。

上記の協議をふまえ、以下のように提言をまとめましたので、実現に向けご検討くださいますようお願いいたします。

【提言】

小規模化が進む二葉中学校、舟栄中学校においては、将来の学校配置について地域としての要望を反映させる必要があると考える。そのため、協議の要旨をふまえ、地域の総意として教育委員会に対し、下記のような要望を早急に提出すること。

記

二葉中学校及び舟栄中学校については、今後も生徒数の減少が見込まれることから、地域の将来を担う子供たちのより良い教育環境の実現に向け、次の要件を満たすような学校の適正配置を要望する。

《要件1》二葉中学校と舟栄中学校は、2年程度の準備期間をとり、平成26年4月をめどに統合すること。

《要件2》統合後の中学校は、二葉中学校、舟栄中学校の両校の伝統の上に立って、他の地域に誇れる新しい学校づくりをめざすこと。また、教育委員会は、そのための必要な支援を行うこと。

《要件3》統合後の校舎は、現在の舟栄中学校を使用すること。

《要件4》統合に当たっては、学習や部活動などの教育活動において学校間の交流活動を計画的に行うなどして生徒への負担軽減に努めるとともに、保護者や地域に対し十分な情報の提供を行うこと。